

第1グループ テーマ

孤立を生まない地域づくり

社会とのつながりや参加に関する現状と課題

現状

- コロナ禍以降、自殺、虐待、DV、ひきこもり、不登校、いじめ、8050問題など、**孤独・孤立に関連する**社会問題が深刻化している。
- 孤独・孤立が引き起こす問題を予防、孤独や孤立を生まない社会を実現するため、孤独・孤立対策推進法が令和6年4月に施行され、社会のあらゆる分野で対策に取り組むことが示された。



課題

- 地域の中で健康で安心して生活できるよう、**日頃から人とつながり・孤立させない**ことが重要。
- 孤独・孤立の状態に陥る原因は、**人間関係のトラブル、病気、失業など多様であり**、それによって支援方法も一律ではない。
- 当事者やその家族に**寄り添い、つながることができる人・居場所**が必要とされている。

◇コミュニティソーシャルワーク(CSW)事業

- ・豊島区民社会福祉協議会に委託して実施。8か所の区民ひろばに2名ずつ計16名が常駐している。
(参考URL:[https:// toshima-shakyo.or.jp/pdf/csw_book2024.pdf](https://toshima-shakyo.or.jp/pdf/csw_book2024.pdf))
- ・全世代を対象に、支援を必要とする方が住み慣れた地域の中でその人らしい暮らしができるように地域や関係機関が協力して支えあう仕組みづくりを推進する。
- ・「相談は福祉のことにこだわらない、暮らしのこと全般」をモットーに社会的な孤立や制度の狭間にある住民への支援を行う。



外国人支援の様子



区民ひろばサロン活動



(関係者会議)

区の主な取組

◇高齢者のための誰でも食堂の推進助成事業

- ・高齢者を中心とした誰でも食堂の開設・運営する団体に対して補助金を助成。
- ・高齢者の**孤立防止**、心身の健康増進、**多世代交流の促進**を実現することを目的とする。



(誰でも食堂の様子)

◇ひきこもり支援事業

- ・「**ゴールは就労だけではない**」というメッセージを掲げ、ひきこもりなどの生きづらさを抱える方やご家族に寄り添った**継続的な支援**を行う。
- ・区の特性を踏まえた支援の在り方を検討するために、学識経験者や弁護士、当事者等で構成した協議会を開催するとともに、**民間支援団体ともネットワーク会議を通して連携し当事者等への支援**を行う。



(相談窓口案内カード)